

Q 国は生産者を支援していないの？

A 飼料価格高騰による畜産経営への影響を緩和するための支援をしています。

配合飼料価格安定制度

配合飼料価格が急激に高騰した場合に支援

飼料価格高騰緊急対策

配合飼料価格の高止まりを受け、緊急的に支援

配合飼料価格安定制度	R3年度補正予算	230億円
	R4年度4月予備費	435億円
	R4年度第2次補正予算	103億円
	R4年度3月予備費	380億円
飼料価格高騰緊急対策	R4年度9月予備費	504億円
	R4年度3月予備費	586億円
総額		2,237億円

国も生産者への支援を続けていますが、激変緩和の効果は持続せず、効果のある間の生産・流通・消費の行動変容が豊かな食生活を維持する上でカギとなります。

Q 私にも何かできることはあるの？

- A
- 生産者は引き続き生産性向上に努力します。
 - 国は安定供給確保のため必要な施策を講じます。
 - 今回の飼料価格高騰は消費者の豊かな食卓を支える上で避けて通れない問題です。畜産・酪農への応援として、生産コストの価格への適正な反映にご理解、ご協力をお願いします。



お問い合わせ先
農林水産省

パンフレットの
内容について、
詳しくはこちら→



資料3

令和5年5月版

国産の牛乳、お肉、卵を
みんなでたべよう

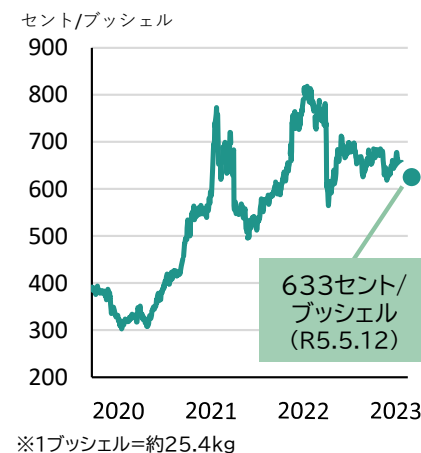


将来も畜産物を味わって
いただきたいのですが
今、大きな問題が生じています

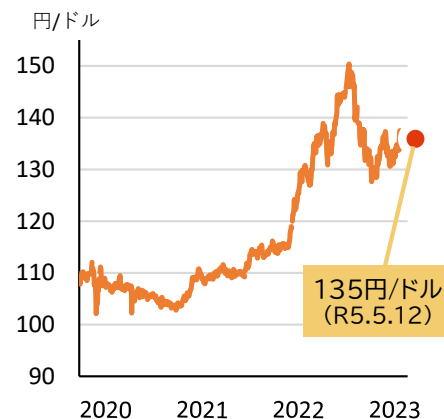
農林水産省

現在、原料価格の高騰や原油高、急速な円安の進展、ウクライナ情勢等により、様々な物価が上昇しています。

家畜の主なえさであるとうもろこしの国際相場の推移

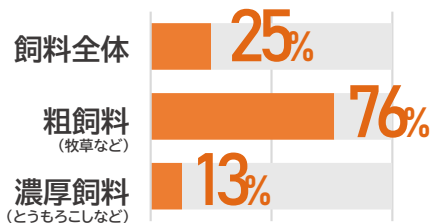


為替相場(円・ドル)



飼料は約75%を
輸入に頼っていますが…
経営コストの多くを飼料費が
占めています。

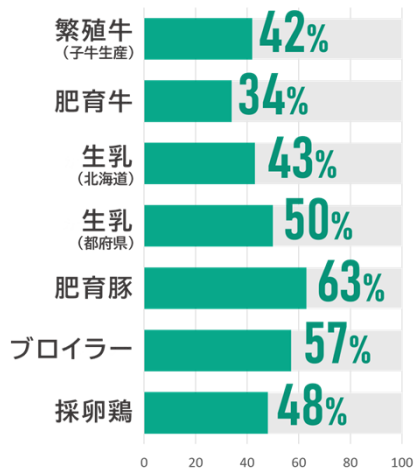
飼料自給率の現状



出典:農林水産省「食料需給表」

経営コストに占める 飼料費の割合(R3年)

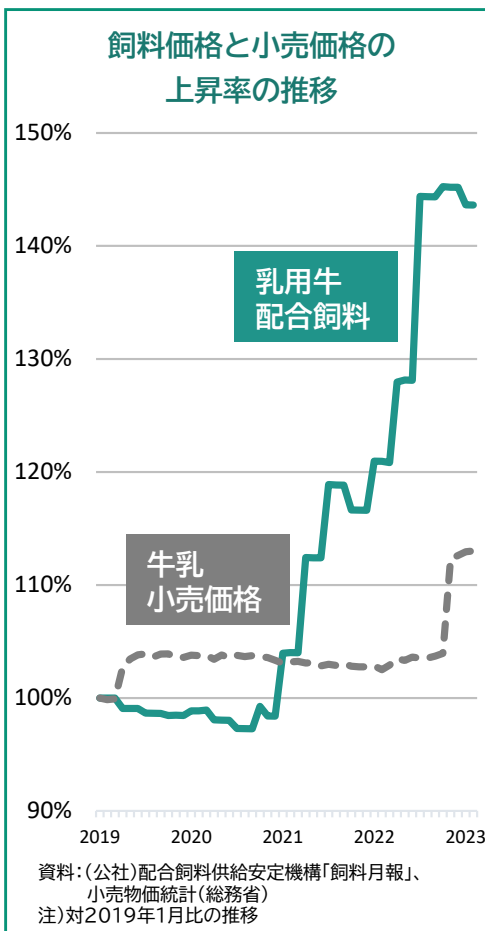
「飼料」は経営コストの
大半を占めています



出典:農林水産省「畜産物生産費統計」
および「営農類型別経営統計」

Q 畜産物の価格は
上がっているの？

A 飼料価格は高騰して
いますが、小売価格は
あまり上がっておらず
畜産農家が飼料コストを
負担し続けています。



Q 飼料価格の高騰への
対応として国産飼料の
利用などをしないの？

A 飼料の国産化や、
生産コストを減らす取組
には時間がかかります。

国産飼料を利用する取組

- 家畜のえさとなるとうもろこし
や牧草などの生産拡大や、放
牧の推進
- 規模拡大により飼料生産を
効率化する取組
- 食品製造時に余った材料の
飼料への利用拡大

生産コストを減らすための 家畜改良

1 頭当たりの年間乳量を増やすこと

H21	R1	R12 (目標)
8,000kg	8,636kg	9,000～ 9,500kg

1 頭当たりの肉量を増やすこと

H21	R1	R12 (目標)
480kg	513kg	530kg

出典:家畜改良増殖目標

Q 経営に影響があると
どうなるの？

A 経営が苦しくなり、離農
する方が増えています。

